



発行者長洲町中央公民館 副 藤末 廣 編集者 廣報長洲編集部 印刷所 玉名新聞社

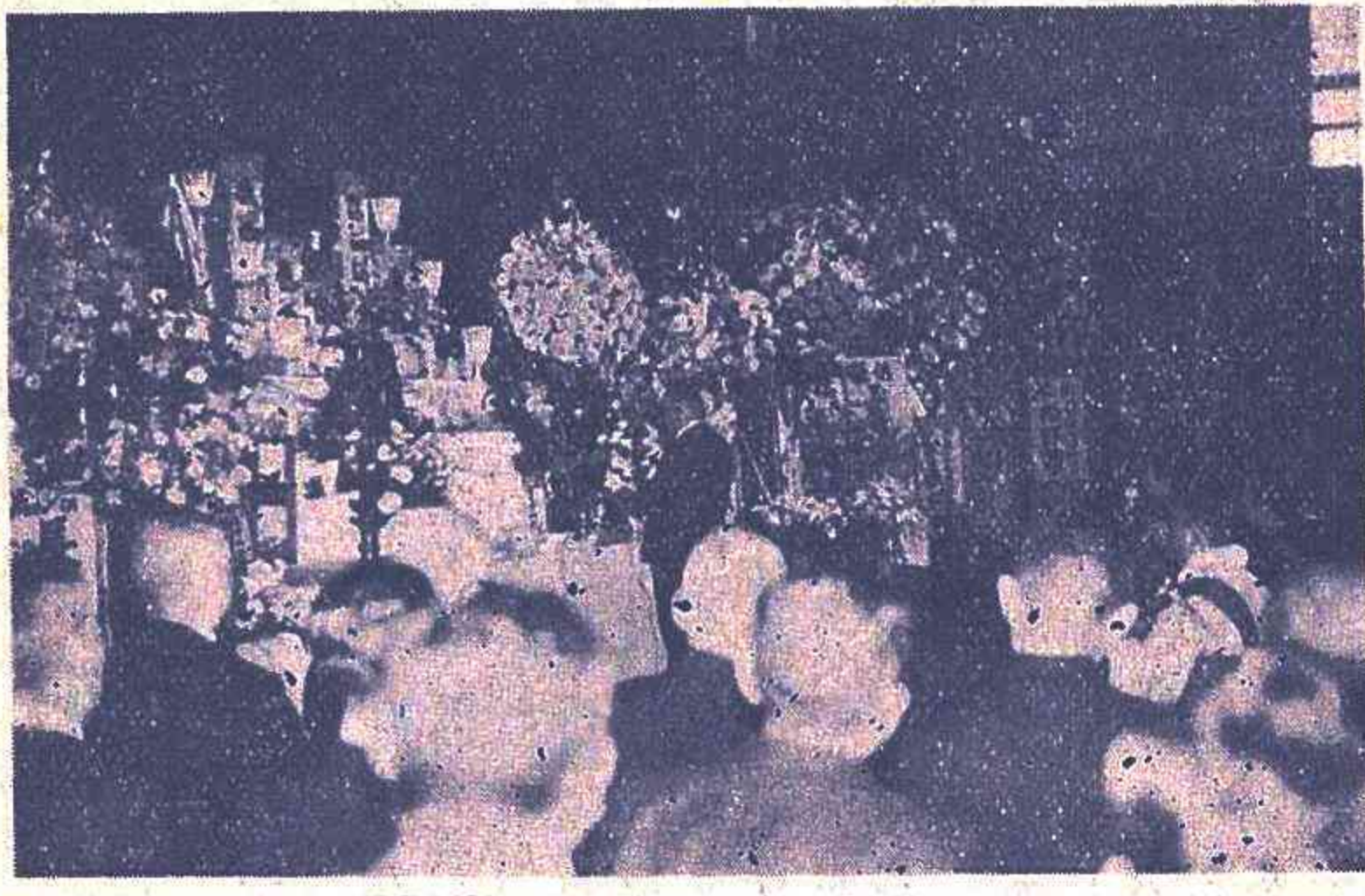


哀悼

松林の向うに夕陽は沈み さざ波も 渚に白く 大人(たいじん)を知る すべての人々は 悲しみを こらえて あなたが残した 町の礎を 強く 大きく育てたい。(豊田)

長洲町の巨星落つ

長洲町長古閑一夫、昨年から屋内体育館においてしめやかにたたえた写真を中心にして数千の熊本市聖心病院において入院加として盛大な葬儀委員長人々の御焼香によつて最後の別荘中三月二十九日(午前三時)築地葬場により行なわれまされされました。その生涯の葬を閉じられた。故人生前の業績をたたえて、変化に満ちたその生涯は生まれその御冥福をお祈りする。故郷で、あのあかすべての。四月一日(午前二時)長洲中学ものを抱擁するようにはほほえみ



町葬

大人の郷土開発の努力は必ずや実を結ぶ

熊本県知事 寺本広作

相携えて奔走した時の事をの迂余曲折があるにしても、大つても不幸を招くことになると、私共は古閑さんが町を愛された長洲の開発を計

議長 大石 正行

「とにかく蔣介石先生は日本が戦時体制下のシヤンハイのある閣下、蔣介石総統側近の青年將校とあつた長洲町に、大人は嘗て青年時代を、大

故古閑町長をしのんで

前最後の訪問者となつたわけで、折りながらいた古閑町長も、不

友人代表 楢岡 小平 大石と三郎

弟二夫の思い出

古閑 一夫

弟二夫は生来元氣者であり、つて支那革命に若い日の情熱を傾け、四百余州を駆け廻り南船

私共は朝鮮の東洋拓殖会社に勤務し、弟二夫は故郷の長洲のために、

その人は長洲に生まれ長洲で育ち、長洲に学んだ古閑一夫町長である。実に長洲町民の誇り



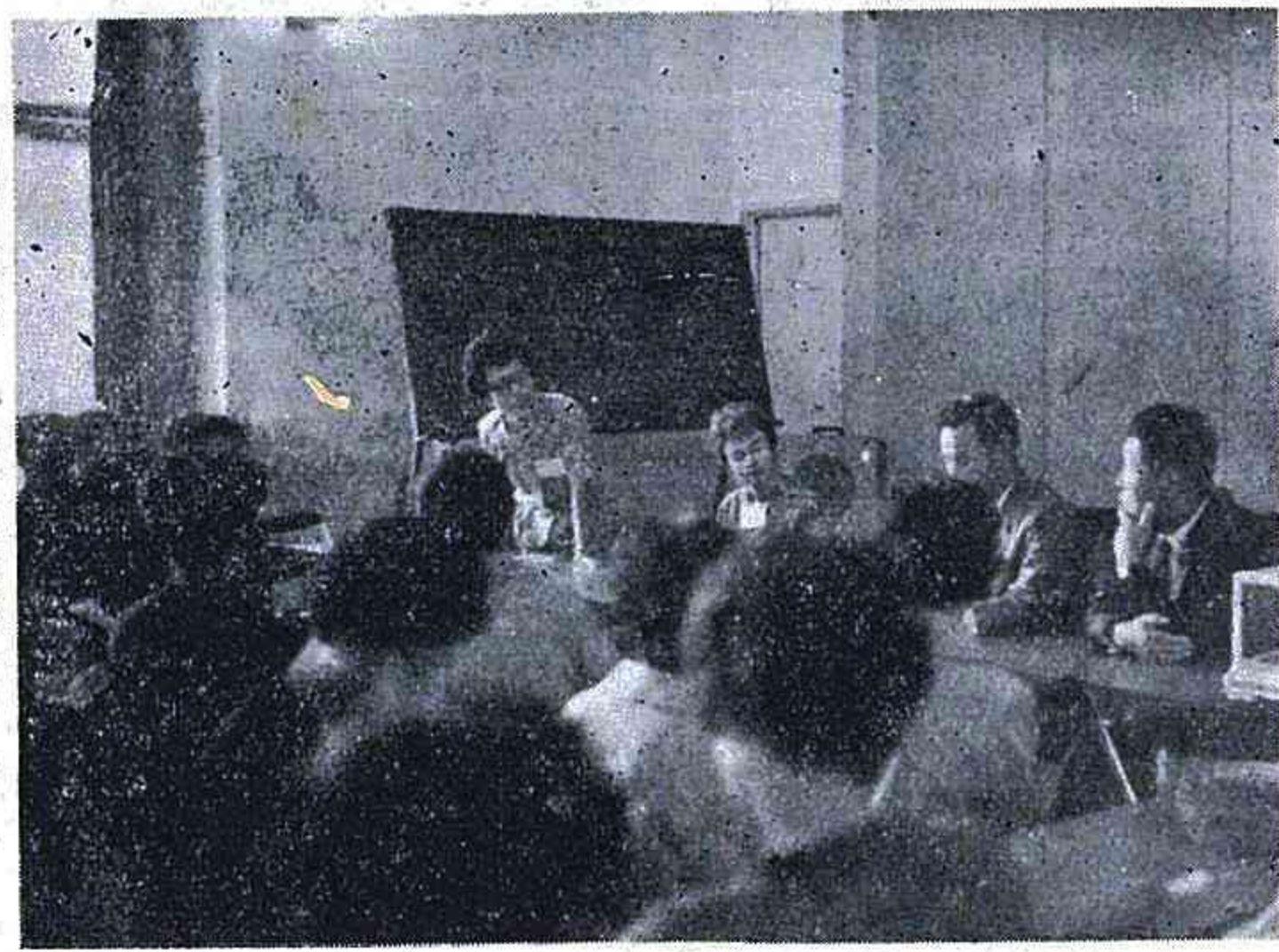
学習ハイライト

愛情のある

社交性を身につけて

激変する現在の世の中で、常エリートたちのみ立身出世の道が約束されていた。に私たちが学習する必要がある。

長く取つて、会社幹部の人がいかに力をつけているか、忘れてはならない。現在の世の中が求めているのは、頭



中央婦人学級 (日米文化センター)

万五千人の給料を百人の会計係のよい愛情のある人を欲している。現在の世の中が求めているのは、頭

長洲町長一般選挙 5月9日 同時に 議会議員補欠選挙 5月9日 執行

みんなもれなく投票しましょう

投票用紙は、町議選は、町長選挙は、記号式投票、投票用紙に候補者の氏名が、印刷されているので、記載台の竹印に、スタンプをつけて、自分の投票しようとする候補者の上欄の○の印を押して下さい。

投票用紙は、記号式投票です。町長選挙は記号式投票ですが、投票用紙に候補者の名前や○印以外の記号などを書くことは無効になります。

こんどの町長選挙は ○の符号をつける記号式投票です

投票用紙のフォーマット。候補者氏名欄に「甲野太郎」と「乙野次郎」があり、○をつける欄が示されています。

投票用紙の様子は次の通りです。投票用紙は、公明選挙町宣。投票時間は、午前七時から午後六時までです。

郷土の遺跡をたずねて 長洲小学校物語

入学者は年をおうて増して、子守学校で行けなくて、石塔が並び、心なき子守は、化であり、機会均等の教育を、施した当時の為政者に頭がさがる、子守学校の敷地は現在、嘉永川敷になっている。古い山、古老の話である。

長洲中学校は明治九年創設され九十年の歳月を経た。其の間送り出した卒業生は、一五〇〇〇と推定される。開校以来教室は建て増され、四三〇〇万円の鉄筋三階建て

長洲町公明選挙推進協議会

三面から続く

氏は漢学者で上今の用木氏の父にあたる。三代は警察の元...

「社明運動の歌」の歌詞募集

長洲町青少年問題協議会

- 長洲町青少年問題協議会は、四月十五日、委員会を開催し、例年七月行なわれる「社会を明るくする運動」...

悪質電話業者にご注意を

長洲郵便局荒尾電報電話局

最近、電話のお申込みも手続にご注意下さい。他人まかせに印鑑をあつげた...

認められてか、高瀬小学校校長へ栄進され、更に男をあげられ...

心のまど



電話のお申込みの手続は無料でカンタンです。ご自身で郵便局の窓口をご利用...

孫に会いたい

上村直木

孫の重雄君は、ながらく病氣日も自分病氣でも、暮参りはあつたが、両親やおじいさん...

こんな町長を選ぼう

- 前進又進歩町民の先頭に立って町長、それは健康で、明朗な人。町民のたれども話し合える町長、それは深い愛情のある人...

地区館だより

清里地区婦人会では三月二十七日に約四十名の学級生と、和を計り、住みよい社会をつくる...

今年のは

投票所一番のり 長洲町新山 島津重勇さんは過去数年、選挙の際の投票所...

会体育は

「社会体育の普及浸透」が望まれておりますが、長洲町でも昭和四十年度は「スポーツの末端浸透」を目標に社会体育行事を進めたいと思つて...